学校番号	311

令和５年度　芸術科

教科	音楽	科目	ソルフェージュ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■保育系、音楽系の専門学校、短期大学、大学進学者向けの、音楽の基礎能力トレーニング（楽典、リズム練習、童謡の歌唱、視唱、視奏、聴音）を行います。
■学習の到達度は、実技テスト、筆記テスト、ワークシート、授業への取組みで評価します。
■ソルフェージュの授業では、「音」に静かにじっくりと耳を傾けることが大切です。そのことで、音程を正しく聴き取ることができる様になり、ソルフェージュの能力が向上します。
■高等学校卒業後、保育系、音楽系の進路に進む際に、ソルフェージュの授業で学習したことが基礎力となり、新しい進路先での学習にスムーズに入っていけるよう、架け橋になることをめざしています。

2　学習の到達目標

・音楽に関する基礎的な理論を理解する。
・音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽文化を尊重し、主体的、創造的に音楽の学習に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、価値判断し、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 筆記小テスト	観察 実技テスト	観察 実技テスト	観察 筆記テスト ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	読譜に必要な知識を身に付けよう①	【楽典】【視奏】 音部記号、五線の名称、音名、音符、音階、休符、小節、反復記号、鍵盤図(学習内容により、キーボードも使用する)	○			○	a:音楽の理論に関心を持ち、主体的に、楽典の学習に取り組もうとしている。 d:音楽の基礎的な理論を理解し、知識を身に付けている。	観察 ワークシート 筆記テスト
	4／4拍子で、リズムをたたいてみよう①	【リズム練習】 音符と休符を理解し、リズム練習をする 全音符 2分音符 4分音符 8分音符 4分休符	○	○	○		a:リズムに関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b: 音符・リズムを知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現している。 c:音楽表現をするために必要な、リズムの技能を身に付けている。	観察 実技テスト
	4／4拍子で、短い曲をドレミで歌って弾いてみよう①	【新曲視唱・視奏】 音符と休符、音の高さを理解し、音程つけて歌う・演奏する 全音符 2分音符 4分音符 8分音符 4分休符	○	○	○		a:新曲視唱に関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b: 音符・リズム・音程を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現している。 c:音楽表現をするために必要な、視唱の技能を身に付けている。	観察 実技テスト
	イメージをもって、明るく元気に歌ったり弾いたりしよう。	【歌唱】 童謡 「どんぐりころころ」 「チューリップ」 「たなばたさま」 「かたつむり」　他	○	○	○		a:イメージを持って童謡を歌う学習に、主体的に取り組もうとしている。 b:音楽が生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせて、どのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 実技テスト

2学期	読譜に必要な知識を身に付けよう①	【楽典】 音名、変化記号、音程	○			○	a:音楽の理論に関心を持ち、主体的に、楽典の学習に取り組もうとしている。 d:音楽の基礎的な理論を理解し、知識を身に付けている。	観察 ワークシート 筆記テスト
	4／4拍子で、リズムをたたいてみよう② 4／4拍子で、短い曲をドレミで歌ってみよう②	【リズム練習】【新曲視唱】 1学期に学習したリズムに加え、下記の音符を学習する 付点2分音符 付点4分音符 付点8分音符 16 分音符･休符	○	○	○		a:リズム、新曲視唱に関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b: 音符・リズム・音程を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現している。 c:音楽表現をするために必要な、リズム、視唱の技能を身に付けている。	観察 実技テスト
	4／4拍子・3／4拍子のメロディーを聴き、五線紙に書き取ってみよう	【聴音】 4/4･3/4拍子の旋律聴音 （4小節、8小節） 2分音符 4分音符 8分音符 4分休符 ※授業の進度により、下記の音符も旋律聴音に加える。 付点4分音符 付点2分音符	○		○	○	a:聴音に関心を持ち、主体的に、楽典の学習に取り組もうとしている。 c:五線紙に、正確で見やすい楽譜を書く、記譜の技能を身につけている。 d: 拍子、音符の長さ、休符の長さ、音程を理解し、知識を身に付けている。	観察 筆記テスト ワークシート
	イメージをもって、明るく元気に歌ったり弾いたりしよう。	【歌唱】 童謡 「手のひらを太陽に」 「紅葉」 「まっかな秋」 「きよしこの夜」 「お正月」他	○	○	○		a:イメージを持って童謡を歌う学習に、主体的に取り組もうとしている。 b:音楽が生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせて、どのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 実技テスト

3学期	6／8拍子で、リズムをたたいてみよう② 3／4拍子で、短い曲をドレミで歌ってみよう②	【リズム練習】【新曲視唱】 6/8拍子で、リズム練習、新曲視唱を学習する 2分音符 4分音符 8分音符 付点2分音符 付点4分音符 4分休符	○	○	○		a:リズム、新曲視唱に関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b: 音符・リズム・音程を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現している。 c:音楽表現をするために必要な、リズム、視唱の技能を身に付けている。	観察 実技テスト
	6／8拍子のメロディーを聴き、五線紙に書き取ってみよう	【聴音】 6/8拍子の旋律聴音 （4小節、8小節、12 小節） 2分音符 4分音符 8分音符 付点2分音符 4分休符	○		○	○	a:聴音に関心を持ち、主体的に、楽典の学習に取り組もうとしている。 c:五線紙に、正確で見やすい楽譜を書く、記譜の技能を身につけている。 d: 拍子、音符の長さ、休符の長さ、音程を理解し、知識を身に付けている。	観察 筆記テスト ワークシート

※　表中の観点について　a: 音楽への関心・意欲・態度　b: 音楽表現の創意工夫
c: 音楽表現の技能　d: 鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）
の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。